

清少納言のまなざし

～『枕草子』冒頭と跋文^{ばつぶん}に表れる

その感性と視線の先～

宮仕えとして、華やかな宮中で見聞きし、感じたことを筆にしたための清少納言。

繊細な美意識が感じられる冒頭「春はあけぼの」、あとがきとしての「跋文」を手掛かりに、その心の内と作品の背景に迫ります。



会 場

北浦和図書館 講座室(地下 1 階)

講 師

文学講師 西巻和子氏

定 員

40名／事前申込制・先着順

申 込

9月15日(火)9:00～10月6日(火)20:00

窓口、電話、FAX、「さいたま市生涯学習情報システム」にて

13:30～15:00

10月13日(火)

20日(火)

参加無料

2週連続講座

WEB 予約はこちら



問い合わせ

さいたま市立北浦和図書館(さいたま市浦和区北浦和 1-4-2)

TEL:048-832-2321

FAX:048-832-2324